

排出削減実績報告書

排出削減事業の名称：

ホテルにおけるバイオマスボイラーへの
更新による CO2 削減事業

排出削減事業者名：斑尾高原リゾート株式会社

排出削減事業共同実施者名：一般社団法人 低炭素投資促進機構

その他関連事業者名：

1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	斑尾高原リゾート株式会社
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	ホテルサンパティック斑尾
住所	長野県飯山市大字飯山 11492-196
排出削減事業共同実施者（国内クレジット保有予定者）	
排出削減事業共同実施者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構
その他関連事業者	
関連事業者名	

2 排出削減活動の概要

2.1 排出削減事業の名称

ホテルにおけるバイオマスボイラーへの更新による CO2 削減事業

2.2 排出削減事業の目的

本事業は、ホテルにおけるボイラー設備を灯油焚きボイラーからバイオマスボイラーに転換することによって、二酸化炭素削減を図るものである。

2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

既存のボイラー3台をバイオマスボイラー2台に更新することで、エネルギー使用量を削減して CO2 削減を図る。木質バイオマス（おが屑）はカーボンニュートラルが適用されるため、主燃料をバイオマスにすることで地球温暖化対策を推進する。

2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

2.5 承認排出削減事業計画からの変更項目

- ・特になし

3 排出削減活動期間

3.1 プロジェクト開始日

2013年2月25日

3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年4月1日 ～ 2015年3月31日

4 温室効果ガス排出削減量

4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
001	ボイラーの更新

4.2 活動量

4.2.1 活動量・原単位

活動量は採用しない。

対象	活動量	原単位

4.2.2 活動量の採用根拠

活動量は採用しない

4.3 事業の範囲 (バウンダリー)

本事業のバウンダリーは、斑尾高原リゾート株式会社のホテルサンパティック斑尾におけるボイラー設備及び供給設備とそこから温水の供給を受ける設備である。

5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場 合) 変更理由
F _{fuel,i,PJ}	木質バイオマス使用量	t	25年度 1,215.5	購買伝票を記録・管理する。 バイオマスボイラでの使用量は乾燥施設 からの運搬時に記録・管理する。	無し
			26年度 1,267.6		
WFC _{wood,pj}	木質バイオマスの含水率	%	32.7	分析報告書。	無し
HV _{fuel,i,PJ}	木質バイオマスの単位発熱量 (高位)	GJ/t	17.3	分析報告書。	無し
ε _{BL}	事業実施前のボイラー効率	%	83.6	カタログ値をもとに算定。	無し
ε _{PJ}	事業実施後のボイラー効率	%	56.6	カタログ値をもとに算定。	無し
CO ₂ F _{fuel,BL}	事業実施前の燃料の単位発熱量 当たりの二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0686	デフォルト値に変更がないか確認する。	無し

(リーケージ)

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法・ 根拠資料	(モニタリング方法 に変更ある場合) 変更理由
輸送距離	集積地～乾燥施設の輸送距離 (往復)	Km	30	ルート変更がないか確認する。	無し
燃費	2 トントラックの燃料消費量	km/L	4.58	デフォルト値に変更がないか確認。	無し
輸送回数	おが屑購入量/2 トントラック	回	25 年度：847 26 年度：889	購入量および搬入車両を記録・管理する。	無し
輸送距離	乾燥施設～ボイラ利用施設の 輸送距離 (往復)	Km	16	ルート変更がないか確認する。	無し
燃費	4 トントラックの燃料消費量	km/L	3.79	デフォルト値に変更がないか確認。	無し
輸送回数	おが屑使用量/4 トントラック	回	25 年度：304 26 年度：317	使用量および搬入車両を記録・管理する。	無し
HV 軽油	軽油の単位発熱量	GJ/L	0.0380	デフォルト値に変更がないか確認。	無し
CO ₂ F 軽油	軽油の二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /GJ	0.0689	デフォルト値に変更がないか確認。	無し
消費電力	乾燥施設の補機動力の定格消費電力合計	kW	60.85	カタログ値	無し

稼働時間	乾燥施設の1日当たりの稼働時間	h	8	稼働時間を記録・管理する。	無し
稼働日	乾燥施設の稼働日	日	25年度：314 26年度：316	年間稼働日を営業カレンダーで確認する。	無し
CO ₂ Felectricity,t	電力の二酸化炭素排出係数	tCO ₂ /kWh	25年度 0.000570 26年度 0.000554	デフォルト値に変更がないか確認。	無し
消費電力	暖房用ボイラの補機動力の定格消費電力合計	kW	15.65	カタログ値	無し
稼働時間	暖房用ボイラの1日当たりの稼働時間	h	22	稼働時間を記録・管理する。	無し
稼働日	暖房用ボイラの稼働日	日	25年度：197 26年度：196	年間稼働日を記録・管理する。	無し
消費電力	給湯用ボイラの補機動力の定格消費電力合計	kW	12.65	カタログ値	無し
稼働時間	給湯用ボイラの1日当たりの稼働時間	h	21	稼働時間を記録・管理する。	無し
稼働日	給湯用ボイラの稼働日	日	25年度：358 26年度：356	年間稼働日を営業カレンダーで確認する。	無し

6 排出削減量の計算

承認排出削減事業計画において採用した算定式に基づき、モニタリング対象項目実測値等を反映した計算結果を記入している。

6.1 事業実施後排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
9,580.9(GJ)25 年度	17.3(GJ/t)	0(tCO ₂ / GJ)	0 (tCO ₂)
9,991.8(GJ)26 年度	17.3(GJ/t)	0(tCO ₂ / GJ)	0 (tCO ₂)
EM _{PJ}			0 (tCO ₂)

6.2 ベースライン排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
9,580.9(GJ)25 年度		0.0686(tCO ₂ /GJ)	657.3 (tCO ₂)
9,991.8(GJ)26 年度		0.0686(tCO ₂ /GJ)	685.4(tCO ₂)
EM _{BL}			1,342.7(tCO ₂)

6.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2 排出量
6,831.4(L)25 年度	0.0380(GJ/L)	0.0689(tCO ₂ /GJ)	17.9 (tCO ₂)
7,161.4(L)26 年度	0.0380(GJ/L)	0.0689(tCO ₂ /GJ)	18.7 (tCO ₂)
284,325.6(kWh) 25 年度		0.000570(tCO ₂ kWh)	162.1 (tCO ₂)
270,854.0(kWh) 26 年度		0.000554(tCO ₂ kWh)	150.1 (tCO ₂)
LE			348.8 (tCO ₂)

6.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	
ベースライン排出量 (7.2) 25,26 年度合計	EM _{BL}	1,342.7 (tCO ₂)
事業実施後排出量 (7.1) 25,26 年度合計	EM _{PJ}	0 (tCO ₂)
リークージ排出量 (7.3) 25, 26 年度合計	LE	348.8 (tCO ₂)
温室効果ガス排出削減量 25, 26 年度合計	ER	993 (tCO₂)

7 省エネルギー量

原油換算 (kl)		
ベースライン ①	実績 ②	ベースライン -実績 ①②
505.0	0	505.0

8 再生可能エネルギー利用量

モニタリング期間 (2013年4月1日 ~ 2015年3月31日)				
	単位	エネルギー使用量 (実績)	熱量換算 (GJ) (実績)	原油換算 (kl) (実績)
バイオマス利用量	t	2,483.0	28,909.6	745.9